

授業科目 作業療法適用計画学

【担当教員名】 矢谷令子・濱口豊太	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<一般目標：G I O>

作業療法に用いる「作業」を対象者の個人別ニーズにどのように適用していくか、その論理について学ぶ。あわせて作業療法計画立案法を

<行動目標：S B O>

1. 本教科の修得にあたり、履修科目を想定し、本科との関連性について述べる事ができる (Working Sheet 1)。
2. 作業療法の計画立案の一連の流れを概略説明することができる。
3. 「作業」の適用についての論理を友人と意見交換できる。
4. 作業療法実践の流れに沿って自己学習することができる (Working Sheet 2, 3)。
5. 同上 (Working Sheet 3, 4)
6. 同上 (Working Sheet 4)
7. 作業療法計画立案を友人と交換し、チェックしあうことができる。
8. チェックリストについて質疑応答をし、自己評価することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	作業療法カリキュラム構成と本科目の意義ならびに関連性 (Working Sheet 1, 2)	1,2	講義
2	「作業」適用の論理	3	講義、討議
3	作業療法実践 (Working Sheet 2, 3)	4	講義、演習
4	作業療法実践 (Working Sheet 3, 4)	5	講義、演習
5	作業療法実践 (Working Sheet 4)	6,7	演習
6	作業療法実践 (Working Sheet 4)	6,7	演習、発表、討議
7	学習のまとめ	8	講義、討議

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	作業療法実践の仕組み	矢谷令子他	協同医書	2001年、¥3500
参考書				
その他の資料	配布資料、Working Sheet 1, 2, 3, 4 他			

【評価方法】	【履修上の留意点】
Working Sheet提出 70%	自己学習型作業が中心となります。
自己点検・評価 30%	自己評価能力を涵養します。